

社民党

渡辺みのる通信

● 第 10 号 ●

発行日 / 2010年(平成22)1月(12月議会号)
発行 / 渡辺みのる後援会
石川町大字北山形字引地1
電話&FAX 0247-26-6994
携帯 090-2798-0434



写真説明 今年は寅年、いろいろなトラがありますが、一位彫りのトラの親子はいかがですか。田畑珠鳳作 (石川町大字沢井住)

—新年明けましておめでとうございます—

今年一年、健康で、 大きな飛躍がありますように

昨年中は大変お世話になりありがとうございました。

新年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますようにお祈り申し上げます。

毎年のことながら、「今年こそは」と、思うのは私だけでしょうか。

誰もが同じく待ってはくれない時間、やはり今年こそはと思う元旦です。

昨年12月議会の様子をお届けします。

一般質問は、復元が待たれ、部材が心配な鈴木重謙居宅の復元計画及び町医療と救急体制の整備、地デジ対策について伺いました。

不況が続く中で、失業、雇用、低賃金、福祉、自殺、強盗、詐欺など、暗いニュースばかりです。

国も地方も、主権は私たちです。私たちの力で暮らしやすい社会の実現に向け、頑張りましょう。

今年も、社民党をよろしくお願いいたします。

福を願い、福満虚空蔵尊祭礼に400人

60年ぶりの本尊ご開帳

1月10日、北山形地区の福満虚空蔵尊祭礼が行われ、多くの参拝者で賑わった。今年60年ぶりのご本尊ご開帳とあって、遠くから年配者や若者が訪れ、健康や富、知恵を願い、参拝しました。

抽選会では、特別酒の「昇龍」や宝くじの当たりに歓喜の声が上がり、今年一年の福を授かっていました。

初めての参拝者の方も多く、急登でうっそうとした杉林なかの参道を登ると、そこは別世界です。静寂の中に、ピーンと張りつめた空気が漂う。



参詣者で賑わう境内

今年とはら年、とらのように元気百倍、勇猛果敢に、頑張りましょう。

虚空蔵菩薩の徳にあやかり、幸せな一年になりますようにお祈りいたします。

12月議会の一般質問から

渡辺：町医療と救急医療の整備に取り組む姿勢は町：重要な課題であり、町民の期待に応えたい

渡辺 今や、石川町は医療に不安を抱える町になり、行政が取り組む必要があります。現状をどのように考えているか伺います。

町長 診療所が9ヶ所で、専門医の不足や入院施設がないこと、救急の搬送時間が長いことなどが課題です。

渡辺 町民の入院先はどこにしているか。

町長 国保の場合、郡山市が42%、須賀川市が28%、その他となっています。

渡辺 医療問題は行政の重要な課題と思うが考えを伺います。

町長 検討しなければならない課題の一つです。

渡辺 高齢化が進む中で、終末医療の問題は大きな課題で、入院施設が必要でないか。

町長 非常に関心が高い、医療関係者と意見交換しながら、期待に応えたい。

渡辺 昨年9月須賀川市では、地域医療協議会を設置し、協議を開始した。町の考えは。

町長 必要なことで検討します。



春早く、道や畑の土手に見られるオオイヌノフグリ

補正予算の可決 国保会計で1億2千5百万円増額補正

今回の議会で、一般会計と4つの特別会計の補正予算を可決しました。

単位：千円

会計名	補正額	内容
一般会計	△17,368	給与減、事業確定の増減、国の見直し減、緊急事業増
国保特別会計	125,949 増	保険給付費増
介護保険特別会計	105,111 増	保険給付費の増
母畑財産区特会	600 増	平安住居整備費
簡易水道特別会計	△159	事業確定による減

渡辺 石川の救急医療は、病院着まで、60分以上が29%です。須賀川市の病院との提携などはできないか。

町長 30分以内なら、須賀川であるが、今後、県や医療機関、市町村などと検討したい。

子どもたちのために⑨



授業準備時間の確保が必要

今、学校では、来年度の教育課程を編成しています。「教育課程」。聞き慣れないことばですが、簡単に言えば、学校の教育目標に基づいて、来年度どう教育するかを定めるものです。とても重要なものですから、3ヶ月近くかけて検討し、次年度に備えます。

学校によっては、課題は様々でしょうが、私の学校では、子どもたちの学びを保障するために、教師の授業準備の時間をどう設定するか検討しています。いきなり授業はできません。一つの授業に準備時間をかけるほど、知的好奇心旺盛な子どもたちにとって満足できる授業になります。学ぶことが楽しくなり、教師も「やりがい」を感じます。授業がそれでいいと言うことは滅多にありません。授業の成立は、教師にとって基本だからです。

しかし、その解決は容易ではありません。限られた時間の中で、教師は授業以外の校務が多く、必要なことをやり切れなくなっています。学校にとって本当に必要なことは何か、贅肉をそぎ落とし、子どもたちのためにもっと時間をさくことができた時、初めて学校本来の姿に戻るような気がします。(F・S)

渡辺：地デジ対応は

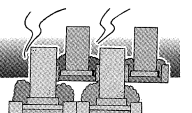
町：テレビ難視の場合は、役場まで連絡を

渡辺 地デジ対策の状況を伺います。

町長 2011(平成23)年7月24日から地上アナログ放送が地上デジタル放送に切り替えになります。町でも、一部を除き地デジ視聴が可能となり、共同受信組合などの対応は進んでいます。

今後、個々の難視情報を収集し、対応していきます。

施設組合で、墓地66区画を造成・分譲…永大使用料20万円



石川地方生活環境施設組合は、12月24日の議会で、墓地条例を制定しました。これにより、今までのごみ及びし尿処理、火葬業務に加えて、墓地の分譲運営を行うことになりました。

場所は大字沢井字川井224番地の10で、計画で

は66区画を造成し、分譲するものです。平成22年度に造成工事を行い、分譲予定となっています。

永大使用料は一区画20万円で、ほかに、年間2,500円の管理料がかかり、10年間の一括払いとなっています。

一般質問から

渡辺：鈴木重謙居宅主屋及び門の復元は町：土地が整理されれば復元、主屋は困難と判断



雪の中、芽を大きくふくらませているふきのとう

渡辺 荒町の鈴木重謙居宅の復元予定を伺う。平成8年に復元予定で解体したが、まだ復元していない。

教育長 平成20年度に、門の設計を行い、土地の地権者と交渉中で、整理ができ次第復元の予定です。

渡辺 この2年間の復元に向けてどんなことをしてきたのか。

教育長 門の設計と、土地が借地なので地権者との交渉をしてきました。先週も話し合いをしたが、譲渡まではいかない。

渡辺 主屋の復元計画は。

教育長 部材の状況、借地、財政上から困難と判断しています。

渡辺 誰が判断したのか。

教育長 私が判断しました。

1月1日の平田村蓬田岳の雪景色



スクールバス購入契約を可決

1台、14,268,694円

12月議会では、スクールバス購入契約及び理科教材備品購入契約、電子黒板付デジタルテレビ購入契約、教育・校務用コンピュータ及び周辺機器購入契約の締結を可決した。

これは、先に入札を行っているもので、金額の大きな契約は議会の議決が必要なためです。

購入品	数量	金額(円)
スクールバス	1台	14,268,694
理科教材備品	705個	8,043,000
電子黒板付デジタルテレビ	10台	6,195,000
教育・校務用コンピュータ	384台	72,975,000

渡辺 主屋は明治の磐前県及び福島県の石川会所(郡の役所)であった建物であるので、復元に努力して欲しい。復元後の活用計画は。

教育長 郷土教育や歴史教育の場として活用したい。

渡辺 鈴木家は自由民権運動の貴重な建物であると同時に、市街地活性化の拠点とできないか。

教育長 そうなればよいと思っています。

渡辺 門の復元で、木端(こば)屋根で、職人がいないことが心配だが、大丈夫か。

教育長 職人さんのことは分かっていません。

渡辺 自由民権運動発祥の地として、20年、30年後に良いものを残してくれたと言われる仕事をするべきです。鈴木家はその価値があるのか、民権運動の顕彰や史跡保存の考えを伺う。

町長 歴史は大事なものであり、後世に残し、子ども達に教えることは私たち大人の仕事と考えています。



このままで良いのか!

町の医療と救急医療体制に不安

今12月議会で、医療と救急体制のあり方を一般質問しましたが、現状を知れば知るほど、町として取り組まなければならない大きな課題であり、具体的に踏み出すべきものと思いました。

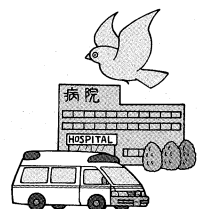
第5次総合計画樹立の町民アンケートでは、都市基盤の整備で何を優先すべきかの間に、第1位は「総合病院など医療施設の整備」、又、地域活性化には何を優先すべきかの間に、第1位は医療施設の整備であった。これを裏付けるように、「町内に入院するところがなく、大変だ」「お産は須賀川、郡山まで行かなければならない」「高齢になり、車が乗れなくなったら心配だ」「最後は自宅で」等々の声が聞かれます。

昔、本町は医療の恵まれた地域であり、町の政策を考える必要がありませんでしたが、今は違います。

町民の命綱である救急医療も、搬送先は80%が郡山、須賀川で、30分以上60分未満が68%、60分以上120分未満が29%を長くなっています。

県全体の平均は344分で30分以内をめざしていますが、石川町は大変です。

崩壊しつつある地域医療を守るのには、医療機関、医療従事者、利用者、行政が一体となって、進めなければなりません。まず検討の場を設定し、課題や問題を整理、対策を具体化する以外にないと考えます。高齢化社会の到来は待つてはくれないので、早急な取り組みが求められています。



町の長期計画を見る…石川町地球温暖化防止実行計画(平成21年10月策定)

第3期役場庁内行動計画で、温室効果ガスを5年間で5%、74トン削減(CO₂換算)

第3期役場庁内行動計画で、温室効果ガスを5年間で5%、74トン削減(CO₂換算)。この計画は地球温暖化対策の1つとして、県や市町村が自ら実行計画を策定し、温室効果ガスの削減を実行するためのものです。

町は平成11年から進めている庁内行動計画の第1期と2期の推進の上に立って、第3期として平成20年を基準に、22年度から26年度までの5年間で、温室効果ガス(CO₂換算)を5%削減する目標を立てました。

役場や学校、保育所、老人ホーム、公民館など、役場関係のところでの目標です。そして、結果や実績を町民に公表するものです。

●基準年、20年度の二酸化炭素排出量は1,468トン●
目標年、26年度は1,394トンに

温室効果ガス6種類の内、一番多い二酸化炭素を削減するものです。具体的には役場関係で使用するガソリン、軽油、重油、灯油、LPG、電気の使用量を5%削減します。



日だまりで、ほころびはじめた梅の花

●紙やごみ、水道使用量の削減、グリーン製品の購入など●
職員の心がけ行動8点を決める

電気や燃料削減のほか、職員の心がけ行動として次の事項を定めています。紙使用量やごみ排出量、水道使用量の削減、グリーン製品の購入、省エネルギーの推進、新エネルギー技術の導入などです。

多重債務者対策の推進を求める請願

12月議会で採択し、意見書を関係機関に送付

石川地区労働福祉協議会会長南波和春さんより出されていた多重債務者対策の推進を求める請願(紹介議員中村孝太郎、渡邊實)を採択し、国の関係機関に意見書を送付しました。

藤沢工業団地造成工事がスタート

10月23日、臨時議会が開かれ、藤沢工業団地造成工事の請負契約が可決。造成工事は1億7797万5千円で、水谷工業(株)。調節地工事は9660万円で(株)志賀建設です。

復元が待たれる鈴木重謙居宅とは

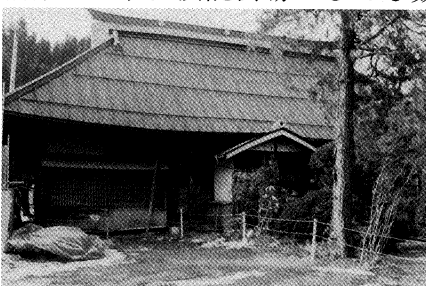
◆石川の大庄屋と役所、演説会場の鈴木家

荒町にある鈴木家は、江戸時代は石川の村々の庄屋をまとめる大庄屋を務め、郷士の資格を得て、名字帯刀が許されていました。

入口にあった立派な門は、農民では建てることのできなかつた四脚門で、郷士の身分を得て建てたものと考えられます。

明治時代になると、磐前県の石川会所、次の福島県の石川会所として使用されています。河野広中もここに勤務していました。県下でも会所の建物が残っているのは珍しい。

有志会議(後に石陽社となる)が、明治8年に結成されると、鈴木荘右衛門はその中心人物として活躍します。演説会場としても数多く使用されました。



取り壊される前の鈴木家主屋

役所でもあり、自由民権運動の史跡でもあった鈴木家は、数少ない本町の歴史を証明する生き証人です。

◆民権家鈴木重謙、教育に力を注ぐ

重謙は安政5年(1858)、岩瀬郡長沼村の生まれで、鈴木家に婿養子に入りました。養父の荘右衛門は石陽社の発起人の一人であり、中心人物でした。



見事な四脚門

重謙は自由党が結成されると若手活動家として活躍します。盛んになった演説会で雄弁をふるいます。明治15年3月14日の諸岡直蔵宅での演説会で、「カラスのように黒い服を着た黄色筋をつけた巡査はこの席にいりゃしません」と演説。臨検巡査への官吏侮辱で石川署に拘束されました。

また、福島・喜多方事件では、石川署に逮捕され、会津若松に護送されましたが、無罪となっています。

その後も政治への熱意は衰えることなく、県議会議員、石川町長を務めました。

町長時代には私立石川中学校や石川高等実科女学校の設立に奔走し、県下で初めての私立中学校が誕生しました。女子技芸教育附設に関する諮問案を議会に提出し、これが後の石川高等実科女学校設立の糸口となりました。

このように、重謙は青少年教育、女子教育に力を注ぎ、町発展に尽力し、本町の基礎を作りました。

(石川町史第6巻 ビジュアル石川町の歴史参照)